

自転車安全運転に係るチラシ・ポスターを新潟県に寄贈

～「青切符」(交通反則通告制度)や自転車保険を紹介～

日本損害保険協会関東支部新潟損保会(会長:大鳥居 徹・三井住友海上火災保険株式会社 新潟支店長)では、新潟県、新潟県警察や防災・防犯など幅広い分野で連携しながら、地域の安全・安心に係る各種取り組みを推進しており、今般、自転車の安全運転に係る啓発チラシ(20,000枚)、ポスター(200枚)を作成し、新潟県に寄贈しました。

本年4月1日から、16歳以上の自転車利用者を対象に「青切符」による取り締まりが開始されることを踏まえて、新潟県民へ自転車の交通ルール・マナーの遵守を呼びかける目的で、啓発チラシ、ポスターを新潟県、新潟県警察と連携して作成したものです。

2月4日(水)15時30分から新潟県庁14階1401号室で開催した贈呈式では、新潟損保会 大鳥居 徹 会長から、新潟県総務部県民生活課 澤田 紀子 課長に目録が手渡され、引き続き、記念写真が行われました。

贈呈された啓発チラシは、啓発イベントや広報活動等を通じて県民の方々に配布され、ポスターは、新潟県内の警察署、市役所・役場や公共施設に掲出される予定です。

新潟損保会では、引き続き、県、県警や関係団体と協力関係を深めながら、自転車をはじめとした交通事故防止の啓発に取り組んでまいります。



目録贈呈

(左:大鳥居損保会長、右:澤田課長、以下同じ)



写真撮影①



写真撮影②



贈呈した啓発チラシ(ポスターは表面のみ)

チラシは以下のURLからご確認いただけます。
URL:

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kant/2025/pdf/2603_chirashi.pdf